

欧州印刷業界 NEWS

2011 年 4 号 (冬)

- powered by drupa -

寒冷の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。さて、ヨーロッパの金融危機はギリシャ、イタリアの国民経済に影響を与えさらに拡大するかの状況にあります。印刷産業においても、金融危機がドイツにも届いたと言っても言い過ぎではないと思います。特に衝撃的なニュースは、マンローランド社が 11 月 25 日に倒産手続きを開始したことです。6500 人の従業員は何等かの形で事業を続ける方法があるようにと希望しています。記事中でももう少し詳しく触れることにします。今回の欧州印刷業界 NEWS2011 年 4 号 (冬号) のテーマは

- * **トレンド**として、オンライン広告市場の発展、普及していく拡張現実 (AR) とビジネスモデルの多様化
- * **産業・企業の情報**として、ドイツのマクロ経済事情やマンローランド社、ハイデルベルグ社に関する情報
- * **メッセ NEWS** として、11 月に上海で開催された「All in Print China」です。どうぞお楽しみください。

第 1 部：欧州の印刷トレンド

トレンド 1：デジタル化よりオンライン化？

コンテンツがデジタル化へシフトしていることは全く否定できないことですが、最新のトレンドは「デジタル化」だけでは、把握できないかも知れません。コンサルティング会社 PWC が発表した調査「Entertainment and Media Outlook 2011-2015」によりますと、ドイツ人のインターネットの利用がテレビを上回ってきているそうです。ウェブにアクセスするためにドイツ人が今年約 96 億ユーロ (約 9948 億円に相当) の料金を払い、その支出が来年は 100 億ユーロを超えることが予想されています。ドイツでは、今年初めてインターネットでの広告に出費した総額が約 40 億ユーロ (約 4145 億円に相当) に達し、テレビのコマーシャル費用を上回りました。別の情報源によりますと、ドイツ企業のオンライン広告への支出額の増加率が昨年比 16 パーセントになり、これからも 10% 台で増加すると予想されています。特に成長性が高い分野として、スマホが挙げられます。近い将来に、スマートフォン、タブレットパソコンとテレビの境界がなくなる可能性が高いのではないのでしょうか。その発展を先導するのはグーグルやフェイスブックなどのアメリカの企業です。彼らはすでに (オンライン広告) の市場の 75% を占めています。

出典：2011 年 10 月 25 日・9 月 27 日付け FAZ 誌

トレント2：普及してくるAR（拡張現実）

特に若い消費者に向かって、包装に「拡張現実」（アーギュメンテッド・リアリティ、augmented reality）の要素を印刷することが見られ始めました。拡張現実とは、現実の環境にインターネット可能な携帯電話またはコンピューターを利用して、表示される環境に追加の情報も表示することです。日本には、すでに大日本印刷グループに属するDNP デジタルコムがARソリューションを提供していることが知られていますが、ヨーロッパの最新の事例として、ネスレ社の「Nesquik Cereals」のコンポがあります。その箱に印刷されているAR要素によって、箱を手を持ちながらゲームができます。下記のリンクをクリックして、Youtube にアクセスし自分の目で確認してください。



その他に、たとえば包装メーカー、ボール・パッケージング・ユーロップの事例は[欧州包装 NEWS2011 年冬号](#)に記載しました。実は、来年の5月デュッセルドルフで開催される印刷機械展 drupa もARの要素を使ってマーケティング・キャンペーンを行っています。「Your link to print」をテーマに、印刷した資料にそれぞれのリンクとコンテンツを追加しています。drupa のロゴや広告に「AR+」の字を見つけたら是非試してみてください。（使い方の簡単な説明は、drupa のウェブサイト www.drupa.com を参照ください。）

出典：2011年11月24日付け Horizont 誌、2011年9月6日付け Verpackungsrundschau 誌、欧州包装 NEWS2011 年4号、<http://dnp-digi.com/solution/arsolution.shtml>

トレント3：ビジネスモデルの多様化

ヨーロッパの印刷産業はビジネスを安定化させるために、従来のビジネスモデルに変化や多様化を打ち出しています。ハイデルベルグをはじめ、機械メーカーがサービスプログラムを強化することによって、コア・ビジネスへの依存度を下げようとしているのはその一つ

の例です。機械メーカーが顧客の資金調達をよりスムーズにするために、機械をリースで提供するという内容の報道も増えてきています。またペーパー・ユニオン社のように製品についての情報調達を便利にするために、新しい技術を利用し、カタログにiPadのアプリを加えた事例も見られます。

出典：2011年10月27日付けHandelsblatt誌、2011年11月24日付けHorizont 2011誌、
2011年11月28日付けwww.print.de

第2部：産業・企業ニュース

ドイツの経済がまだ成長

2011年前半ドイツの国民経済は主に輸出の増加に支えられ成長を見せています。このトレンドが継続すると、今年の輸出総額が、1兆ユーロを初めて達成すると言う可能性が少なくはありません。しかしながら、輸出相手先には変化が見えてきました：いままで一番重要なパートナーであるユーロ通貨地域への輸出が約41.8%から40.8%に縮小しました。これに対して、2011年前半に輸出が最も増加した国は、トルコ(+45%)やロシア(+39%)それに中国(+25%)です。この動きは、国際連合貿易開発会議UNCTADの報告書に一致しています。その報告書によりますと、去年初めて新興工業国への外国投資の割合が全世界の対外国投資の半分を上回り52%になったとしています。ドイツ企業は数年にわたってのコスト削減などにより利益率を上げることが出来ており、新興工業国と開発途上国に積極的に投資しようとしています。

しかし、この秋のヨーロッパでの状況は、結局ドイツ企業にも消極的な影響を及ぼします。ドイツの著名な経済研究所が提出した経済事情調査では、来年の経済成長が依然として2%から0.8%に下がると予想しています。しかし、ドイツの企業からの回答によって作成される景況指数は2011年11月には、まだ楽観的な数字が出ています。残念ながら、印刷機械業界の状況はそれには当てはまりませんでした。

出典：2011年7月28日・10月13日・11月25日付けFAZ誌、
2011年7月26日付けHandelsblatt誌

マンローランドが倒産手続きを開始

大株主にドイツの保険会社アリアンツ系のACP社（議決権のある株の65%）とMAN社（議決権のある株の35%）をもつ、大手印刷機械メーカーであるマンローランドのドイツ本社が11月25日倒産手続きを開始しました。今年受注も売り上げも上昇した同社は、夏ごろには、2011年度の売上が10億ユーロを達成できるのではないかとこの予想を公表していました。しかし、欧州の金融危機などによって、受注が予想を下回り、資金調達が必要になりました。以前資金を提供した株主が更なる資金調達を拒否したようで、マンローランド社が増資のためにスイスの投資会社カプビス（Capvis）と交渉を始めました。しかし、マンローランドの2011年9月現在の業績を分析

した結果、カプビス社はマンローランドを再構築するためのコストが予想以上にかかるため、投資計画は中止となりました。マンローランド社は現在 6500 名の従業員をかかえ、会社が解体された場合には、この 2 年間ではドイツ国内で最大規模のケースとなります。管財人に任命されたシュライヤー弁護士は、会社を解体せず、再建する方向で努力しているとコメントしています。

2011 年 11 月 28 日付け FTD 誌、2011 年 11 月 28 日付け Handelsblatt 誌、

<http://www.manroland.com/com/en/8337.htm>

ロゴの出典 : <http://www.manroland.com>

ハイデルベルグ社が中国で成長

161 年の歴史を誇るハイデルベルグ社では、企業の歴史上初めて「ある国」の市場における売上が、ドイツ本国での売上高を上回りました。2010 年の事業年度にもっとも高い比率を示した市場を持つ国はすなわち中国です。中国市場の売り上げは、全売上高の 16% を占めました。金額にすると 4 億 2000 万ユーロ（現時点 435 億円に相当）になります。同社の中国工場の拡張については、前回の欧州印刷業界 NEWS でも扱いました。もちろん、ハイデルベルグ社は、機械の中国市場への適合化も行っています。中国市場向けの製品はドイツで作られる機械設計をベースにしていますが、不要な機能を削除することによって価格も下げることができるため中国の顧客にとって格好の値段で提供できるとしています。

出典 : 2011 年 9 月 30 日付け Handelsblatt 誌、2011 年 10 月 12 日付け Nachrichten für Außenhandel 誌、2011 年 11 月 2 日付け Stuttgarter Zeitung 誌

第 3 部：メッセ情報

All in Print China 第 4 回中国国際印刷機材展が 2011 年 11 月 14 日～17 日開催



2011 年 11 月 14 日から 17 日まで上海の上海新国際博覧中心 (SNIEC) で

All in Print China 第 4 回中国国際印刷機材展が開催されました。主催者はメッセ・デュッセルドルフの中国の子会社メッセ・デュッセルドルフ・チャイナ、中国印刷技術協会と中国印刷科学技術研究所です。今回の All in

Print China では日本の会社のプレゼンスが強く押し出されていました。主

催者の情報統計では、株式会社東京機械製作所が全出展社の中で最大面積のブースを使い出展参加しました。(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンも 2 名のスタッフを現地に派遣し、できる限りのサポートを出展社・来場者に提供しました。どの展示ホールも活気にあふれ、よいビジネス環境を作り出されていました。主催者からファイナルレポートの英文版が発行され次第、日本語版を作成しこのニュースの特別号としてお届けする予定です。

欧州印刷業界 NEWS2011 年冬号、お楽しみいただけましたでしょうか？ご意見やご希望をお聞かせいただけましたら幸いです。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集 担当】メルケ

【メッセ担当】ユング

info@messe-dus.co.jp

www.messe-dus.co.jp

<http://drupa.messe-dus.co.jp>

「欧州印刷 NEWS」ご不要の方は恐れ入りますが、上記アドレスへ「欧州印刷業界 NEWS 送信不要」とご連絡お願い致します。本メールの掲載情報はメール発行日現在のものであり、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。